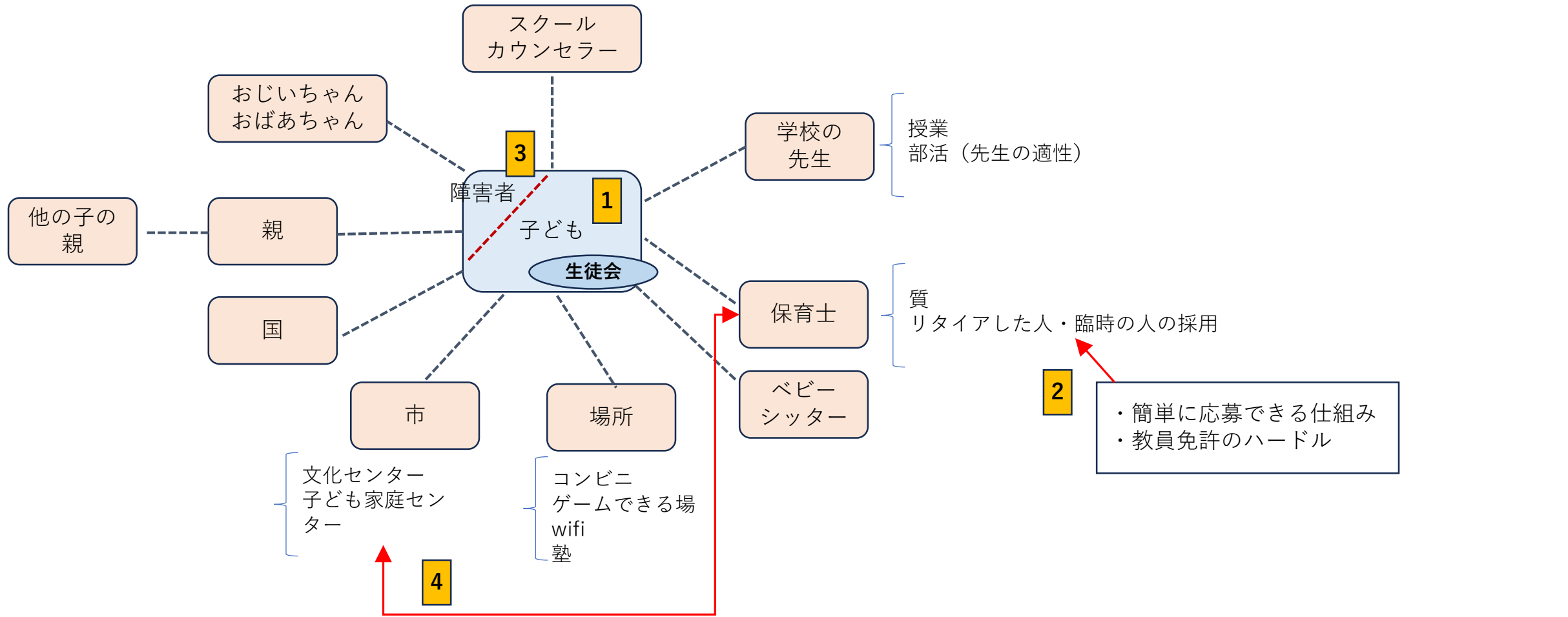


第三回B班まとめ



1 自分で声をあげられない子どもとのつながり
(例：学校のタブレットにアプリ)

3 障害者と健常者（子ども・大人）のつながり

5 民間/スペース（廃校等）
とのつながり（開放・活用）
(体験も促進)

2 資格がなくても子育てに参画できる
仕組みを通じたつながり

4 行政同士のつながり

6 市内・市外への発信
(イメージ、アピール、民間イベント情報含む)

1 自分で声をあげられない子どもとのつながり
(例：学校のタブレットにアプリ)



電話相談窓口は恒常的に開設。今年度、ヤングケアラーの実態調査の際に相談も受けられるWEBフォームを設けた。市WEB上の問合せフォームでも相談可能。府ではLINE相談を運用中。

子ども相談課

2 資格がなくても子育てに参画できる
仕組みを通じたつながり



スクールヘルパーの採用、子育て支援員の認定（子育て支援員は保育補助等への就労可能）

学校教育部

施設指導課

青少年教育課

3 障害者と健常者（子ども・大人）のつながり



ふれあいのつどい（市主催イベント）、バリアフリーマラソン（補助事業）
その他民間事業者各自での取組み（ふれあいバザー、地域のお祭りで障害者が作成した物品を販売）は一部あり

障害施策推進課

4 行政同士のつながり



庁内関係部署間や府との連携、また連絡会等は適宜行っている。
現場での連携状況については個人の知識・力量によるところが大きく課題と認識。

子どもすこやか部

5 民間/スペース（廃校等）との
つながり（開放・活用）（体験も促進）



旧三ノ瀬小学校が空き校舎状態
※ドラマのロケ地として活用実績あり

6 市内・市外への発信
(イメージ、アピール、民間イベント情報含む)



市政だより（全戸配布+WEB）、Twitter、Facebook、LINE、Instagram
また市内イベント出展など各部署で一定の機会はある。

広報課、その他